



つるだ

さつま町立鶴田小学校
学校便り 第1号
R6.4.15発行

入学・進級おめでとうございます!



校長 田畑 悦郎

令和6年度のスタートです。今年度は1年生13名を迎え、全校児童94名と職員19名でのスタートとなりました。94名の児童を育成するための学校教育目標・校訓は、下のとおりです。ご家庭でのご協力もお願いいたします。

学校教育目標

「夢に向かって力強く歩む、心豊かでたくましい鶴田っ子の育成」

校訓

きよく(徳) 心を耕す

- 自他のよさを自覚できる子
- 明るく礼儀正しい子
- 思いやりのある子

自己肯定感は、子どもが将来さまざまな困難や問題を乗り越えていく力を蓄える土台となります。

日常生活の中で起きるささいなことでも、周囲の人間が感謝の言葉をかけるとともに、褒めてあげることで、子どもの自尊心・自己肯定感は一段と高まっています。

かしこく(知) 知を深める

- 自ら学ぼうとする子
- 筋道を立てて考え、比較・検討する子
- 基礎基本、能力等を身に付ける子

本校は各種学力調査結果から、学力はしっかり身に付いていますが、思考・判断・表現を伴う問題に課題があります。

そこで、様々なタイプの資料(テキスト)を活用し、資料から抜き出した情報を分析・評価しながら、自分の考えを発展させたり、論述し合ったりする活動を設定します。

たくましく(体) 体を鍛える

- 進んで体を鍛える子
- 自分の健康・安全・命を自ら守る子

本校では、昨年度までメディアとのつきあい方について課題が見られました。

そこで、各学級で児童の発達段階や実態に応じた指導を一層推進します。

合わせて、保護者の方にも家庭内ルールの設定や睡眠時間の確保等をお願いしていきます。

家庭で取り組んでいただきたいことの例

- | | | |
|---|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ① 子どもの話を聞いて肯定してあげる。 ② ほめる時は結果ではなく、過程をほめる(よく頑張った!) ③ ほかの子ともと比較しない。 | <ul style="list-style-type: none"> ◎ 授業で、友だちの意見などを聞いて、納得できたり、自分の考えに取り入れたり、自分の考えを修正したりすることができているか、尋ねる。 | <ul style="list-style-type: none"> ① メディアの利用ルール(例：9時オフ)を決め、確実に実践する。 ② ゲームを終わらせるタイミングを、一緒に考える。 |
|---|--|---|

はじめまして! (?) 今般の県教職員人事異動により、志布志市立野神小学校から参りました、校長の田畑悦郎です。出身は薩摩川内市で、また以前盈進小学校で勤務していた経験もあります。「はじめまして」ではない方もいらっしゃるので嬉しく思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



CS

TSURUDA

発行先 さつま町立鶴田小学校運営協議会



転入・復帰職員紹介

新たに7名の先生方が転入・復帰されました。簡単にですが、紹介します。地域の皆様、これからどうぞよろしくお願いいたします。

職名	氏名 (よみがな)	転入元等
校長	田畑 悦郎(たばた えつろう)	志布志市立野神小
教諭	服部 里華(はっとり りか)	新規採用
教諭	濱崎 めぐみ(はまさき めぐみ)	育児休業より復帰
養護教諭	宮脇 由美(みやわき ゆみ)	薩摩川内市立川内中央中
学校用務員	市来 幸一(いちき こういち)	さつま町立中津川小
図書事務補	小野原 重子(おのはら しげこ)	さつま町立永野小
特別支援教育支援員	上野 宏恵(うえの ひろえ)	さつま町立中津川小

CS TSURUDA

2年目に突入！コミュニティ・スクール 「CS TSURUDA」の2年目がスタートしました。職種、男女・年齢構成等を考慮し、委員を通じて推薦者に依頼したところ、以下の11名の方々が快く引き受けていただきました。令和6年度は新委員のみなさんと一緒に、学校と地域がつながり、具体的な活動が実現できるよう協議を進めていきます。

氏名	推薦理由	氏名	推薦理由
野元 政志	鶴田和紙伝承者	片山 晋介	宮之城温泉組合会長
西田 強	西田竹材工業所会長	栗野 明男	奥ほたる船会長
増田 正勝	鶴田区長寿会長	麥田 博稔	湯田区長寿会長
升 澄子	元ちいきおこし協力隊員	野元 浩幸	校区畜産家
有嶋 哲朗	鶴田ダム管理事務所	濱島 勝子	地域サロン会長
東條 渚	元PTA役員		

CS TSURUDA

あいさつこだま運動・見守りありがとうございます。

4/9(火)朝、児童の登校の様子を見て回りました。あいさつこだま運動で地域の方々、あさくま浄化槽の職員のみなさん、さまざまな方々が子供たちの安全のため、立哨指導をしてくださっていました。その様子を見ていて、子供たちは、地域に支えられながら、登下校できているんだと改めて感じる事ができました。本当にありがとうございます。令和6年度も鶴田小の子供たちをどうぞよろしくお願いいたします。もし、子供たちの登下校で気付かれたことがありましたら、学校へ連絡ください。

